

医師連盟 TOTTORI

鳥取県医師連盟発行
発行人 岡本公男

〒680 - 8585 鳥取市戎町317 鳥取県医師会館内
電話 (0857)27 - 5566



岩砂和雄 日本医師連盟副委員長

みな同じである。だれでも、いつでも、どこでも受診できる保険医療体制は守らなければならない。医政なくして医療なくして政治は選

冒頭、岡本委員長がたけみ敬三氏の経歴を紹介し、「全国で百万票、鳥取県では五十万票を獲得し、医療政策に発言力を持つため、確

「命はけた岩砂副委員長は、実なる後援会名簿の獲得を願いたい。団結して取り組んで行こう」と挨拶。日本医師連盟からかけつ

たけみ敬三先生を励ます会

鳥取県医師連盟は三月二十一日、鳥取市・鳥取県医師会館において、七月に予定されている参議院議員選挙比例区に日本医師連盟推薦で自民党から立候補を表明している「たけみ敬三先生を励ます会」を開催した。励ます会には会員や医療関係者など約二百五十名が集まり、たけみ氏から決意表明を聞くとともにたけみ氏の必勝、しかも上位当選を期して力強くカンパロールで激励した。

= 過去の得票数
(日医連推薦候補者) =
平成16年 (西島英利氏)
全国：250,426票、鳥取県：2,038票
平成13年 (武見敬三氏)
全国：227,042票、鳥取県：2,057票

挙での票そのものである」とたけみ敬三氏への支援を願った。



続いて応援弁士として最初に壇上に立った藤井省三先生(県会議員)は、「前回福祉関係の候補者を応援したが、今回は全力でたけみ先生を支援する」と誓った。
次いで常田享詳参議院議員からは自身も改選期となることから「たけみ敬三先生とは同期当選で、六人会を結成し介護保険などのシンポジウムなどを開催してきたが、今回改選は二人と



たけみ敬三先生を励ます会

なつた。医療改革関連法案で21項目の附帯決議を付けたのはたけみ先生である。日本の医療を間違いない方

最後の応援弁士として石破 茂衆議院議員（自民党）

鳥取県連会長）からは「たけみ先生について行けば間違いない、信頼できる人である。アメリカやイギリスのような医療制度ではなく今の医療制度を守るべきである。比例区はたけみと名前を書いてほしい。ぜひ大臣に」と締めくくった。

これに対してたけみ敬三先生から以下のとおり決意表明があつた。（要旨）

昨年9月の安倍内閣において厚生労働副大臣を拝命した。筆頭の副大臣として再チャレンジ、少子化対策など全般を担当しており、重責である。

昨年夏頃から自民党の厚生労働部会が変わってきた。産婦人科をはじめとする全国的な医師不足について意見を述べる衆参国会議員が増えてきた。日本医師会は政府・与党との情報、連携が大切である。医療制

度改革関連法案では21項目の附帯決議を付けたが、そのほとんどは日本医師会が提案したもので官僚の言うことには西島参議院議員とともに耳をかさなかつた。これこそが政治である。

産婦人科医師逮捕事件からお産を廃止する施設、医師が増えた。自民党では日医からの要請により出産時の無過失脳性小児麻痺補償制度を緊急に創設することとした。

今、メタボリック対策として自分自身が実践している。食事、運動を管理



たけみ敬三 参議院議員

参議院議員選挙

比例区は

名前を書いてください

後期高齢者医療制度は各県に広域連合を作り権限委譲となるので、県での医療政策が大切となってくる。医師会や県議会議員の役割が重要となってくる。参議院議員選挙後には消費税を含めた税制、そして

平成十九年度収支予算案
 額は収入支出合計二千三百
 九十一万九千円で、原案の
 通り予算案は承認された。
 負担金はA 会員一人年額

鳥取県医師連盟は三月二十一日、鳥取市・鳥取県
 医師会館において執行委員会及び総会を開催し、平
 成十八年度事業報告、平成十九年度収支予算案を原
 案通り可決、承認した。

平成十九年度 予算案を可決！

診療報酬改定の議論が始ま
 る。大学教授から政治家に
 転身したが、政治は理屈で
 は動かない、通用しないこ
 とが十分わかった。政治の
 力は「票」である。それが
 医療財源を確保する力とな
 る。

最後に、野島丈夫副委員
 長の音頭で、たけみ敬三先
 生の高位当選を目指して
 「ガンバロー」と氣勢をあ
 げた。

一人でも多く参加する
 ことが大切である。そして
 同士が必要であるので、選
 挙区では常田享詳先生への
 ご支援をお願いしたい。

平成18年度鳥取県医師連盟の事業報告

1. 鳥取県医師連盟関係 執行委員会

- < 第1回 >
 日時 平成18年7月29日
 場所 県医師会館
 議事 役員・議長の選任
 平成17年度収支決算承認
 参議院議員選挙対策
- < 第2回 >
 日時 平成19年3月21日
 場所 県医師会館
 報告 平成18年度事業報告
 平成19年度予算
 参議院議員選挙対策

総会

- 日時 平成19年3月21日
 場所 県医師会館
 報告 平成18年度事業報告
 平成19年度予算
 参議院議員選挙対策

2. 日本医師連盟関係 日本医師連盟執行委員会

- < 第1回 >
 日時 平成18年4月18日
 場所 日本医師会館

- 出席者 岡本委員長、野島副委員長、
 長田前委員長 (日医連会計監督者)
- 議事 日本医師連盟役員人事について
 その他

- < 第2回 >
 日時 平成19年1月16日
 場所 日本医師会館
 出席者 岡本委員長、野島副委員長、
 長田前委員長 (日医連会計監督者)
- 議事 平成17年度決算承認について
 平成19年度負担額について
 (A 1年額2万円)

3. 選挙関係
 参議院議員選挙に向けて日医連推薦の現職、
 たけみ敬三先生の後援会事務所開きが2月20日、
 東京・西新橋の事務所において開催され、岡本
 委員長が出席した。

4. その他
 広報活動としてリーフレット「医師連盟TOT
 TORI」を2回(第18・19号)発行した。内容
 については、ホームページに掲載している。

平成19年度鳥取県医師連盟収支予算(案)

【収入の部】

(単位:千円)

款	項	予算額	前年度予算額	比較増減額	摘 要
1. 会 費 (51.05%)		12,210	12,230	- 20	県医連 @10,000円 × 418人 = 4,180,000円 日医連 @20,000円 × 401人 = 8,020,000円
	1. 会 費	12,200	12,220	- 20	
	2. 特別会費	10	10	0	
2. 寄 付 金 (13.41%)		3,208	3,216	- 8	8,020,000円 × 40% = 3,208,000円
	1. 日医連寄付金	3,208	3,216	- 8	
3. その他の収入 (0.01%)		1	1	0	普通預金利息
	1. 雑 入	1	1	0	
4. 繰 越 金 (35.53%)		8,500	9,500	- 1,000	前年度繰越金
	1. 繰 越 金	8,500	9,500	- 1,000	
収 入 合 計		23,919	24,947	- 1,028	

【支出の部】

款	項	予算額	前年度予算額	比較増減額	摘 要
1. 事 務 費 (0.84%)		200	200	0	
	1. 一般事務費	200	200	0	
2. 組織活動費 (16.1%)		3,850	3,790	60	執行委員会旅費、活動旅費 執行委員会諸費 国会議員、県会議懇談会費 医師連盟TOTTORI 3回発行
	1. 旅 費	2,000	2,000	0	
	2. 会 議 費	500	500	0	
	3. 懇談会費	1,000	1,000	0	
	4. 負 担 金	50	50	0	
	5. 広 報 費	300	240	60	
3. 選挙関係費 (4.18%)		1,000	1,000	0	
	1. 寄 付 金	1,000	1,000	0	
4. 寄付交付金 (42.96%)		10,276	10,323	- 47	@20,000円 × 401人 = 8,020,000円 @2,700円 × 280人 = 756,000円
	1. 日医連負担金	8,020	8,040	- 20	
	2. 地区連絡費	1,500	1,500	0	
	3. 支部交付金	756	783	- 27	
5. その他の経費 (35.92%)		8,593	9,634	- 1,041	
	1. 予 備 費	8,593	9,634	- 1,041	
支 出 合 計		23,919	24,947	- 1,028	

収支差引残額 な し